

令和6年度 大学院 保健医療学研究科

博士課程 入学試験Ⅰ期 問題

運動器柔道整復学専攻

専 門 科 目

受験番号

自身の受験番号を必ず記載してください。

【注意事項】

1. 解答は指定された解答用紙に記入してください。
2. 解答用紙には、受験番号、氏名を記入してください。
(2枚目以降も受験番号を記入してください。)
3. 問題用紙及び解答用紙は、全て提出してください。

令和6年度 大学院 保健医療学研究科 博士課程入学試験 I 期

運動器柔道整復学専攻 問題 専門科目

問題 1.

別紙の資料に示した厚生労働白書による医療関係従事者数の表を見て、増加が顕著な医療資格を柔道整復師以外で2つ選び、それらの資格について、①増加した社会的背景（300字以内）、②増加したことによる国民のメリットとデメリット（300字以内）を各々の資格について制限文字数内で述べよ。なお、増加数や増加率の上位2資格でなくてもよい。

問題 2.

医師や歯科医師、看護師は多職種との連携を重視している。問題1で選択した2資格と柔道整復師との連携について、①連携を図るために求められること（300字以内）、②連携できる業務とそのメリット（300字以内）を各々の資格について制限文字数内で述べよ。

問題 3.

柔道整復師法の第16条は「柔道整復師は、外科手術を行ない、又は薬品を投与し、若しくはその指示をする等の行為をしてはならない。」と規定されている。この規定に違反して、外科手術を行い、薬品を投与した場合の罰則について、違反する法律と罰則の内容について300字以内で述べよ。

※別紙 資料

厚生労働白書平成25年版（左）、令和5年版（右）